



株式会社ダイナックス創立50周年特集

北の大地より世界に向けて 「オンリーワンの価値」を。



ご挨拶 株式会社ダイナックス
代表取締役社長

伊藤 和弘

当社は本年、おかげさまで創立50周年を迎えることができました。

これもひとえに、千歳市、苫小牧市や北海道など地域の皆様、当社のお客様や仕入先様をはじめ多くの皆様のご厚情とご支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

1973年6月の創立以来、自動車・建機・農機等の駆動系専門メーカーとして摩擦機能部品の開発・製造・販売を一貫して行ってきました。

これまでの道のりは決して平坦ではなく、幾多の経済危機や自然災害、新型コロナウイルスなど経営を大きく揺さぶる困難も地域の皆様に支えていただきながら一つひとつ乗り越え、5名からスタートした会社も米国、中国、ハンガリー、メキシコにも進出し、国内外で2500名を超える社員がともに働くまで成長することができました。

当社は、創立より時代をリードし続ける「進取」と新しい領域へ挑戦する「独創性」の精神の下、一貫した研究・開発システムによる製品づくりを掲げ、北海道から世界中のお客様へ製品をお届けしています。昨今、自動車の電動化やカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出ゼロ)など、取り巻

く経営環境は大きく変化しておりますが、当社が目指す姿は「お客様が感動する新たな価値とサービスを創造し、提供する」、SDGsの理念に基づく「未来の社会づくり」に貢献することにあります。

これまでの50年のものづくりで培った知見を礎に、グループを挙げて次の50年に向けた「新たな価値」創造へ全力で挑戦して参ります。

さらにDX(デジタルトランスフォーメーション)やGX(グリーントランスフォーメーション)の推進への取り組みや新事業を通じて、地元地域の発展にも微力ながら貢献し、皆様に当社に進出していただけて良かったと思っております。当社は「オンリーワンの価値」を創造し、お客様に感動して頂く、「世界一の企業」を経営ビジョンに掲げております。

今後当社社員一人ひとりがスピードある行動とチャレンジ精神で世界一のものづくりを生み出し、グローバル展開の強化と技術革新のビジネスチャンスで、世界一の企業を目指して参りますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

「未来を今に」、独創性で世界に駆ける企業へ



ダイナックス50周年記念動画



「摩擦」という言葉から連想するイメージは人それぞれですが、私たちダイナックスは1973年の創立以来、本来の意味の「摩擦」にこだわっています。自動車・建機・農機等の駆動系専門メーカーである私たちの製品には、摩擦がとても重要だからです。北海道・千歳から全世界に向けて、磨きあげてきた最新技術を発信する中で、主力製品である車載用クラッチディスクにおける世界シェアでトップを誇るまでになりました。おかげさまで創立から50年を迎えたダイナックスが目指すのは、より良いものづくり。摩擦を恐れずに新しいチャレンジを続け、北海道の皆様と一緒に明るい未来へ向かいます。



北海道発のグローバルカンパニー

摩擦 ひとすじ 半世紀



株式会社 ダイナックス

[本社]〒066-0077 北海道千歳市上長郡1053番地1 TEL (0123)24-3247(代) FAX (0123)49-2050
[名古屋営業所] [静岡営業所] [U.S.A. (Sales Office)] [Europe (Representative Office)]

www.dynax-j.com



インホイールモーターの製造を予定している苫小牧第6工場(提供)



千歳工場内の保育施設に導入した太陽光発電システム

苫小牧第6工場 ライン設置へ

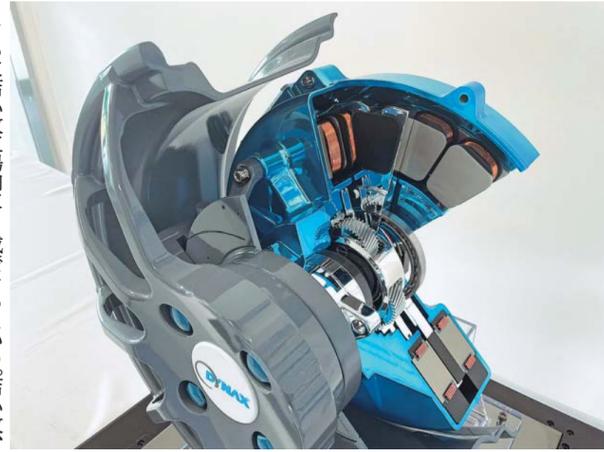
ダイナックスは自動車業界が大変革期を迎える前の2012年から、北海道大学と電気自動車(EV)用インホイールモーター(IWM)の共同開発を進めてきた。ホイール内部に装備し、タイヤを直接駆動させる電気モーターで、他社製品と一線を画す扁平形状、高トルクが特長だ。19年から同社出資のベンチャー企業FOMM(フォーム)でIWM搭載の小型EVを製造している。

そしてIWMの新たな製造拠となるのが、苫小牧市柏原に新設した苫小牧第6工場(平屋建て約1万8000平方メートル)。今秋にも最初の製造ラインが設置完了予定で、将来的には最大12ライン、月産2万台まで製造能力を伸ばす方針。既に各企業から引き合いがあり、期待感は大い。今年4月には自社技術を用いた製品に活用する手段を模索する次世代商品開発部が誕生。高層ビルの免震装置など新商品開発にも力を

EV用IWMの製造拠点

50年のカーボンニュートラル(CN)、温室効果ガスの排出ゼロ)実現に向けた取り組みも活発だ。30年までに温室効果ガス排出量を19年度比で46%まで削減する方針を打ち出し、昨年11月に苫東地域で大規模太陽光発電設備(メガソーラー)を着上。自家消費型として道内最大級の発電量年4・3ギワット時を、PPA(電力販売契約)方式で導入。11月にも運転を始める予定だ。

さらに苫小牧工場内に木質バイオマスボイラー1基を導入する。24年1月に稼働予定で、二酸化炭素(CO₂)排出量を年350ト、国内工場全体の9・3%相当分を削減できるという。苫小牧千歳工場の従業員駐車場のソーラーカーポート化、工場屋根へのソーラーパネル設置など、同社の積極的なCN推進から今後とも目が離せない。



ダイナックスが開発したインホイールモーター(提供)

心よりお祝いたします。

総合的な技術力により話題を呼ぶ企業

TOTIC 株式会社 トーテック

代表取締役 前田 忠

札幌事業所/千歳市信濃4丁目13 TEL(0123)25-8775

王子エンジニアリング株式会社

本社/東京都中央区銀座4丁目7番5号 ☎03(6311)5400

苫小牧事業部/苫小牧市王子町2丁目1番1号 ☎0144(32)0477

B-NEXT

株式会社ビーネックスパートナーズ

〒061-1448 恵庭市相生町1-8-1 いざりえ恵庭ビル3階

TEL(0123)34-6066 FAX(0123)34-6067

苫小牧商工会議所

会頭 宮本 知治

苫小牧市表町1丁目1番13号 苫小牧経済センタービル内

TEL(0144)33-5454 FAX(0144)32-6058

RIX リックス株式会社

苫小牧営業所

苫小牧市沼ノ端中央4丁目1-50 TEL(0144)51-2002

・産業廃棄物最終処分・収集運搬
・伐採木破砕・大型タンククリーニング

株式会社 C&R

代表取締役 横山 義典

本社 ☎059-1363 苫小牧市字静川5番4 TEL(0144)56-4040・FAX(0144)56-3030

建築物環境衛生総合管理業務(各種清掃・空気環境測定・給排水設備・害虫等防除・水質検査)
設備管理業務(ボイラー性能検査前整備工事・第一種圧力容器整備工事・プラント設備維持管理業務)
警備業務・人材派遣業務・サービス委託業務(緑化管理業務・除排雪作業・各種宮繕業務)

株式会社 苫小牧 エージェンシー

代表取締役 志田 昌紀

本社/苫小牧市末広町3丁目6番14号

TEL 0144-33-0268 FAX 0144-35-1162

人と物の出会いを大切に

苫小牧栗林運輸株式会社

代表取締役社長 栗林 秀光

苫小牧市元中野町2丁目13番16号 TEL(0144)34-2111

一般鋼材・鉄鋼二次製品・建設資材・セメント
生コン・石油製品・住宅機器・LPG

ABE SHOJI CO.,LTD.

阿部商事株式会社

代表取締役会長 阿部 明弘
代表取締役社長 阿部 喜憲

苫小牧市柳町2-1-1 TEL(0144)55-2511(代表)

SANGO

人もの・環境を結ぶものづくり

株式会社 三五北海道

代表取締役 松井 知幸

苫小牧市真砂町41番地2

TEL:0144-51-5135 FAX:0144-51-5235

電気工事・電気通信工事・設計・施工・メンテナンス

株式会社 電友社

代表取締役 砂金 和幸

本社/苫小牧市北栄町3丁目20番21号

TEL(0144)55-3810

札幌営業所/札幌市豊平区平岸4条12丁目1-16

TEL(011)374-5038

次代を築く、最先端のソリューションを

CONCEPT ENGINEERING

美和電気工業株式会社

苫小牧支店

代表取締役社長 山本 裕
苫小牧支店長 高橋 正芳

本社 東京都新宿区新宿1-8-5 TEL.03-3341-2101
苫小牧支店 苫小牧市新明町4-12-8 TEL.0144-55-8511

機械器具・工具販売・産業用機器
装置販売・FA機器・加工機販売
配管資材・機器販売・超高压配管洗浄工事

佐々木機工は、
鉄鋼・石油化学・自動車部品・
機械・造船・電力などの分野で、
北海道のモノづくりを
サポートしております。

ビジネスを通してお客様と喜びを

株式会社 佐々木機工

代表取締役社長 鈴木 俊光

本社/室蘭市東町2丁目2番19号 TEL 0143-47-5428
HP:https://www.sasaki-kikoh.co.jp/
営業所:室蘭営業所・苫小牧営業所・札幌営業所

HOKKAIDO

トヨタ自動車北海道株式会社

苫小牧市字勇弘145番地の1 TEL(0144)57-2121(代表)

https://www.tmh.co.jp

ダイナックス社沿革

- 1973(昭和48)年 米国RM社と大金製作所(現エクセディ)の合併企業として設立(社名=大金・アールエム)。
- 83(同58)年 国産摩擦材第1号開発。
- 87(同62)年 米国RM社と技術援助契約を解消し技術的に独立。
- 89(平成元)年 米国RM社と大金製作所が当社にかかわる合併契約を解消。ワールドワイドの営業展開開始。
- 90(同2)年 ドイツに欧州駐在員事務所開設。
- 91(同3)年 社名を「ダイナックス」に変更。苫小牧工場完成。米国駐在員事務所開設(デトロイト市)。
- 95(同7)年 メルセデス・ベンツ社向け納入開始。米国家事務所現地法人化。
- 96(同8)年 トヨタ社向けクラッチパック納入開始。
- 97(同9)年 米国フォード社向けシンクロナイザーリング納入開始。ダイナックスアメリカの工場竣工(しゅんこう)。QS9000、ISO9001認証取得。
- 99(同11)年 米国に販売会社設立。中国・上海に工場及び現地法人を設立。
- 2001(同13)年 ISO14001認証取得。
- 04(同16)年 パック事業部での受注・生産が100万台突破。
- 05(同17)年 北米での営業・調達機能会社「エクセディダイナックスアメリカ(EDA)」設立。摩擦剤開発で「第1回ものづくり日本大賞経済産業大臣賞」受賞。
- 08(同20)年 千歳第5、苫小牧第4両工場と苫小牧に新R&D(リサーチ&デベロップメント)センター完成。
- 12(同24)年 苫小牧第5工場完成。北大とインホイールモーターの技術開発を進める。
- 13(同25)年 苫小牧厚生棟新設。食堂・売店リニューアル。抄紙ライン稼働開始。
- 14(同26)年 経済産業省グローバルニッチトップ企業100選に選定。
- 16(同28)年 経済産業省「新ダイバーシティ経営企業100選」に選定。
- 17(同29)年 累計ディスク生産30億枚達成。
- 18(同30)年 苫小牧市沼ノ端スケートセンターのネーミングライツ獲得。「ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ」と命名。
- 21(令和3)年 苫小牧第6工場完成。北海道ビジネスEXPO2021で農業チームなど新規事業開発内容を初公開。
- 22(同4)年 EV専門部署発足。安平町と包括連携協定締結。



クラッチパックの組み立て作業

世界的ブランドに発展 地域との結び付きも大切に

地域貢献への取り組みも活発だ。ダイナックスアリーナ(千歳市)、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ(苫小牧市)のスポーツ施設2カ所を、21年に安平町とスポーツを通じた地域振興を目指す連携協定も締結。同社アイスホッケー部がスケート教室を実施するなど、地域との結び付きを大切にしている。

世界的なシェア確立で2017年、クラッチディスク生産は累計30億枚を突破。製造拠点の千歳、苫小牧の施設を次々と拡張し、千歳に五つ、苫小牧に六つの工場を構える。自動車業界が電気自動車(EV)化、自動運転化といった100年に1度といわれる大変革期を迎える中、地域と手を携えながら次の10年、20年先を力強く見据える。

未来を今に 続く進化

自動車クラッチ板製造の国内最大手ダイナックス(本社千歳、伊藤和弘社長)は26日、創立50年の節目を迎えた。千歳、苫小牧の国内製造拠点のみならず、米国、中国、ハンガリー、メキシコに工場を構え、世界的な「ダイナックスブランド」を確立した半世紀。近年は異業種参入や脱炭素社会の実現に向けた取り組みをはじめ、創業時から変わらぬ「未来を今に」の精神を胸に、道央の地で進化を続けている。

1973年に米国レイベスト・マンハッタン(RM社)と大金製作所(現エクセディ)の合併会社、大金・アールエムに端を発す

る同社。輸入製品の加工販売を手掛けたが、米国に社員を派遣するなどし、自社製品の開発に着手した。苦心の果てに83年3月、国産摩擦材第1号が完成した。

89年にRM社との合併を解消し、91年4月に社名を現在の「ダイナックス」に一新。苫小牧工場が完成したのは、その約4カ月後。「シリアル」にして深みがある「自動車用クラッチ板の開発、研究に力を注ぎ、トヨタ自動車、ホンダ、日産など国内大手自動車メーカーに部品を納入するまでに躍進。フォード(米国)、メルセデスベンツ(ドイツ)など海外大手もこぞ採用した。

ダイナックス 創立50周年

北海道知事 鈴木直道

経済活性化に貢献

株式会社ダイナックスが創立50周年という大きな節目を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴社は、1973年の創立以来、確かな技術力で自動車の湿式クラッチディスク搭載率において国内1位、世界2位のシェアを誇る日本を代表するグローバル企業に成長され、ものづくり産業の発展はもとより、本道経済の活性化にも

大なるご貢献をいただいております。自動車関連産業が、100年に1度と言われる変革期を迎える中、インホイールモーターなどの新たな技術の開発や生産はもとより、再生可能エネルギーを積極的に導入されるなど時代の潮流をいち早く捉えらるることも、ワイヤ事業への参入やキャンパ場運営といった新たな挑戦を通じ、地域の発展にもご尽力いただいております。

苫小牧市長 岩倉博文

さらなる躍進を

株式会社ダイナックスが創立50周年を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

1973年の創立以来、自動車用クラッチディスクなど、自動車の「摩擦機能部品」製造の分野において、着実な歩みを続け、世界を舞台として事業展開を図られてこられました。

近年、自動車業界では未来のモビリティ(移動手段)社会の実現に向け大きな転換点を迎えてお

と優れた経営力をもって、世界的な地位を築いてこられました。これもひとえに、伊藤社長を中心として、社員の皆さまが丸となって社業にまい進されてきたまもであり、心から敬意を表するものであります。

貴社におかれましては、北海道内最大規模のものづくり企業として当市の工業振興はもとより、環境問題への取り組みも動きやすい職場環境の整備など、地域における先導的な役割を果たされてお

千歳市長 横田隆一

地域の先導的役割

株式会社ダイナックスが記念すべき創立50周年を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

1973年の会社設立以来、「未来を今に」という企業スピリットをベースにされたチャレンジ精神により、「オンリーワン」の価値創造を通してお客さまに感動をお届けするという、積極的な事業展開

先導的な役割を果たされてお

株式会社ダイナックス 創立50周年を

千歳商工会議所
会頭 入口 博美
千歳市東雲町3丁目2番地6 TEL(0123)23-2175
https://chitose-cci.or.jp

北海道銀行 千歳支店
支店長 鳥井 史彦
千歳市千代田町7丁目1789-3 千歳ステーションプラザ1F
TEL(0123)23-5555

ランスタッド株式会社 千歳支店
代表取締役社長 兼 COO 猿谷 哲
〒066-0063 千歳市幸町6-18-3 千歳駅前ビル2F
TEL:050-1744-6601
URL:https://www.randstad.co.jp/about/

三和シャッター工業株式会社 苫小牧営業所
〒059-1272 苫小牧市のぞみ町3丁目17-22
TEL 0144-67-0121 FAX 0144-67-0253
www.sanwa-ss.co.jp

警備業(交通誘導)・人材派遣業・教育事業
北日本産業株式会社
代表取締役 酒井 誉介
〒050-0074 室蘭市中央4丁目7番14号
TEL(0143)43-5248・FAX(0143)46-4883

Orchestrating a brighter world **NEC**
明日のコミュニケーションをデザインする
NEC ネットズ エス アイ
北海道支店 札幌市中央区大通西4-1 TEL:011-232-1121 https://www.nesic.co.jp

お客様と社会の繁栄に貢献し 社員の幸福と会社の発展につとめます
合通プラス株式会社
代表取締役社長 岡本 浩幸
北海道苫小牧市宇柏原6番地245 TEL 0144-57-1711(代表)

NIPPON STEEL
各種産業機械全般の設置、メンテナンス、また付帯設備の製作等
日鉄ファーストテック株式会社
苫小牧営業所 〒059-1372 苫小牧市勇払26番地7
TEL(0144)56-2760・FAX(0144)56-2769
HP www.ftc.nipponsteel.com

苫東はGXの先進地を目指します
株式会社 苫東
代表取締役社長 辻 泰弘
苫小牧市宇柏原211番地の1
TEL(0144)53-1010
www.tomatoh.co.jp

地球の恵みを、社会の望みに。
エアウォータ北海道産業ガス株式会社
□本社 札幌市中央区北3条西3丁目1番地 大同生命札幌ビル3F
〒060-0003 TEL(011)212-2881 FAX(011)212-6556
□千歳営業所 千歳市信濃3丁目18番17号
〒066-0038 TEL(0123)42-2288 FAX(0123)42-2282
□苫小牧営業所 苫小牧市宇柏原6番地414
〒059-1362 TEL(0144)52-5513 FAX(0144)52-5516

be Original, be Global. **オージー株式会社**
人と化学の調和
未来への挑戦と創造
豊かさの追求
Create for the future

ベストなITをコーディネートする
北都システム株式会社
代表取締役社長 高橋直樹
〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条3丁目5番11号
TEL:011-896-7571(代)
Web:https://www.hscnet.co.jp

各種機械の設計・製作・修理
MEIWA 明和機械株式会社
取締役社長 外崎 和也
〒059-1364 苫小牧市沼ノ端602番地5 TEL(0144)55-0678・FAX(0144)55-5494

産業機械・メンテナンス・鉄構造物工事業・管工事・機械器具設置工事業
建設業許可/北海道知事許可(般-26)胆第04854号
MOURI ENGINEERING 株式会社 毛利エンジニアリング
代表取締役 毛利 一彦
本社/苫小牧市拓勇西町5丁目7-15 TEL(0144)84-7366
工場/千歳市上長都1160番44

現在ブドウ栽培が行われている安平町追分地区のほ場



安平、厚真で異業種参入

ワイン事業

キャンプ場運営

安平町の関係者を招いて行われた交流会。実際にブドウ栽培の一端を体験



地域に根差した活動



この春から指定管理、運営する厚真町の大沼野営場(提供)



安平町の地方創生に関する取り組みのため、2022年に町と包括協定を締結した

胆振東部の近隣でも地域に根差した活動を展開するダイナックス。本業の自動車部品製造のみならず、近年は安平町でワイン事業や、厚真町のキャンプ場運営にも乗り出し、多くの注目を集めている。自動車産業が変革期を迎える中、農業や観光業など異業種への参入でも新たな活路を見いだしつつ、胆振東部地震で被災した町の活性化にもつなげる考えだ。

安平町で動きだしているワイン事業。2年ほど前からワイン用のブドウ8品種110本を、追分地区の畑で試験栽培するなどに、準備を進めてきた。ブドウ栽培に必要な気温と日照時間の確保、木を越冬させるための積雪量があることを確認した上で、昨年5月には町とワインを特産品とするために包括協定を締結。同年には畑2畝に「シャルドネ」「ピノ・ノワール」「ゲルナー」など15品種の苗木約3000本を植えた。

さらに今年から来年にかけて、面積の規模を拡大させて苗木を増やし、将来的には町内でワイナリー(ワイン醸造所)の開設を目指す。町としてもワインが新たな地域ブランド創出や雇用の確保など、さまざまな面で波及効果を期待。構想を膨らませる。

今年4月からは厚真町でも、「大沼野営場(同町鯉沼)の指定管理者としてキャンプ場運営をスタート。今季は例年より早めにクローズし、来年度以降に向けて管理棟の改修やトイレの新設などを進める。このほか、サイトを区分けして事前予約や決済ができるスマートチェックインシステムの構築やグラブピングサイトを新設する計画もある。

また、これまで冬期間は休業していた施設利用を通年に変更する予定で、町も「これまで10月クローズだった施設を通年で営業する。多くのキャンプニーズに応えることができるのでは」と町の価値向上に期待を寄せる。

株式会社ダイナックス創立50周年を心よりお祝いたします。



(株)ダイナックス
ホームページ



50周年記念動画が
ご覧いただけます

祝50周年
株式会社ダイナックス安全協会の
協力会 会員企業一同

エリアの人材サービスと建設のことなら
株式会社セイショウ 苫小牧営業所
〒053-0021 苫小牧市若草町1丁目3-12
TEL(0144)84-6117 FAX(0144)84-6118

北海道パーカライズン株式会社
代表取締役社長 藤永 恭太
苫小牧市字沼ノ端18番地の102
TEL(0144)57-3247 FAX(0144)57-3280

弁理士法人
テックロー国際知財事務所
〒102-0073
東京都千代田区九段北一丁目12番4号
御海庫ビル2階3号室
TEL:03-6268-8121/FAX:03-6268-8125
Email:office@teclawplc.com
http://www.teclawplc.com

創立50周年、心よりお祝い申し上げます。
益々のご発展をお祈り致します。
北港運輸株式会社
代表取締役社長 古谷 裕子
大阪市此花区春日出北3-2-1 TEL 06-6462-3131

中央機械工具株式会社

代表取締役 田尻 雅一
〒053-0007 北海道苫小牧市船見町2丁目8番25号
TEL(0144)34-2331(代表) FAX(0144)34-1159

株式会社 I・TEC ソリューションズ

〒053-0022 苫小牧市表町1丁目1-11
☎0144-38-2611
https://www.itecsol.jp/

MIZUHO
みずほ銀行

創立50周年、心よりお祝い申し上げます。
北海道北港運輸株式会社
代表取締役社長 山田 圭一
千歳市泉沢1007-92 TEL 0123-28-4363

[Logistics & Forklift]、
トヨタL&Fはあなたの物流ニーズにお応えします。
TOYOTA
L&F トヨタL&F札幌株式会社
本社/札幌市豊平区月寒中央通7丁目7番17号 TEL.011-851-6211
苫小牧支店/苫小牧市一本松町11番地3 TEL.0144-55-3101

“移動”に感動を、未来に笑顔を。

AISIN
アイシン北海道株式会社

〒059-1362 苫小牧市字柏原32番地5
TEL(0144)53-7111 FAX(0144)53-7511
https://www.aisin.com/jp/group/aisin-hokkaido/

工業部品・建築資材をお届けする北海道の専門商社

潮物産株式会社

本社・札幌支店/
〒063-8522 札幌市西区発寒12条12丁目2-1
商品管理センター・弘研株/
〒063-0835 札幌市西区発寒15条12丁目2-25
営業所/函館・室蘭・釧路・苫小牧・旭川・帯広・北見

消防設備 設計・施工・販売・保守点検
SKT
保守点検業者賠償責任保険加入事業所
有限会社 三共テクノス

代表取締役 熊谷 秀樹
部長 池田 孝行
〒053-0006 苫小牧市新中野町3丁目6番3号
Tel(0144)38-2030 Fax(0144)38-2031

DENSO 株式会社デンソー北海道
代表取締役 奥石 将次
〒066-0051
北海道千歳市泉沢1007-195
www.denso-hokkaido.co.jp



自動車の進化を、北海道から支えて参ります